

合併の検討が必要77%

狭山市・入間市の組み合わせがトップ

市町村合併は、市民生活や地域社会に大きな影響を与えるものです。市では、これまでに市町村合併の一般的事項(広報さやまつく4月号)や、市町村合併研究会が進めてきた調査研究結果の概要(6月25日号)をお知らせするとともに、地区別に説明会を開催してきました。そして、市では、合併に関する市民皆さんの意向を把握し、合併を検討する資料とするため、10月に「市町村合併に関する市民意識調査」を実施しました。今回は、この調査結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。



9月18日～30日に公民館、市役所などで市町村合併説明会が行われ、921名の方が参加して活発な意見交換が行われました

回答者の属性

性別

無回答 0.4%

男 44.4%	女 55.2%
------------	------------

年齢層

無回答 1.0%

20～29歳 12.2%	30～39歳 13.1%	40～49歳 14.0%	50～59歳 24.9%	60～69歳 22.2%	70歳以上 12.7%
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------

居住地区別

奥富地区 3.6%

無回答 1.4%

入間川地区 30.4%	入間地区 24.5%	堀兼地区 9.0%	柏原地区 6.0%	水富地区 14.5%	狭山台地区 7.8%
----------------	---------------	--------------	--------------	---------------	---------------

新狭山地区 2.9%

居住年数

無回答 0.9%

5年未満 8.1%	5～9年 8.9%	10～14年 7.4%	15～19年 13.2%	20年以上 61.5%
--------------	--------------	----------------	-----------------	----------------

調査の方法

対象狭山市在住の満20歳以上の男女 対象者数5,000人
抽出方法住民基本台帳から無作為に抽出 調査方法郵送による配布・回収 調査期間10月1日～10日
回答者数2,135人 回答率42.7%

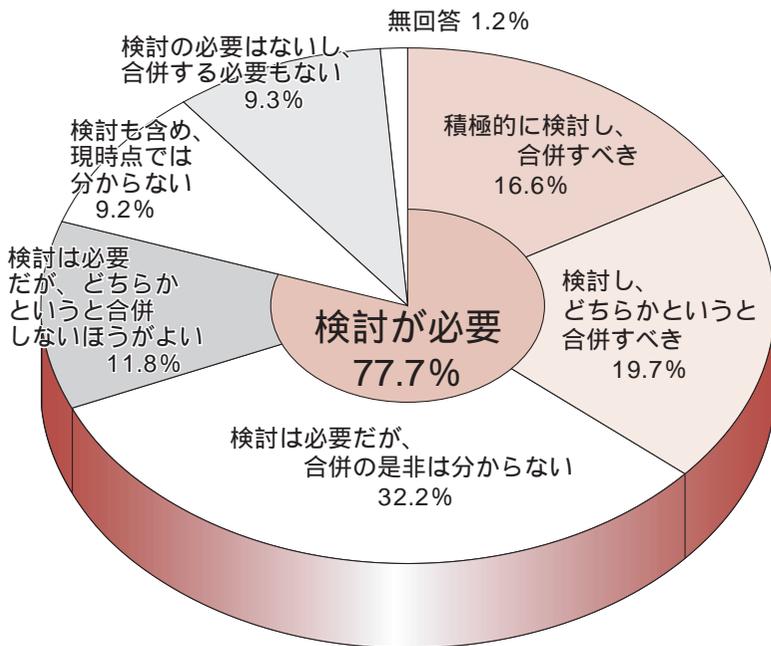
集計における比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%を上下する場合があります

設問 あなたは、市町村合併について、どのようにお考えですか。

77%の方が合併の検討は必要

合併肯定が36%、合併否定が18%

合併について



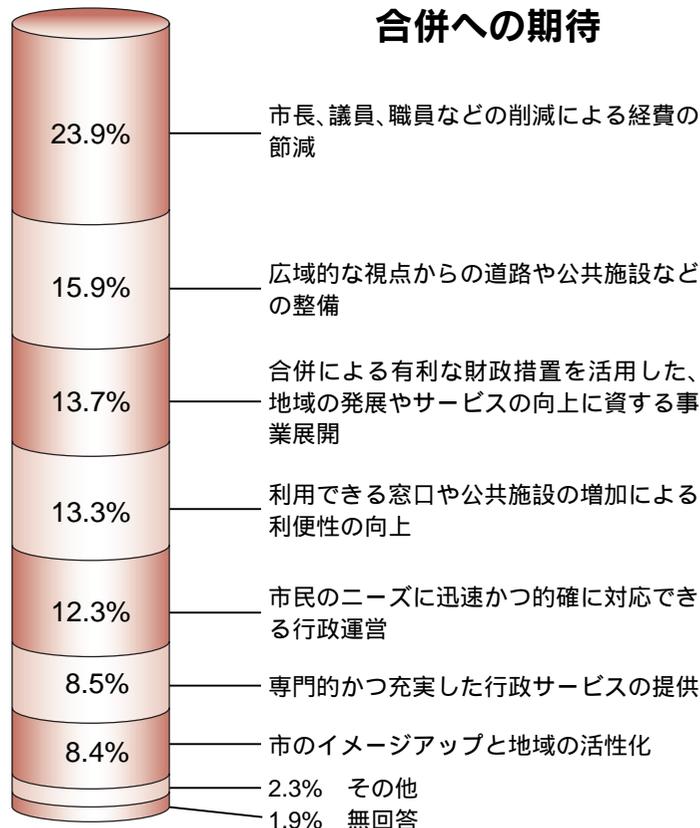
合併に関する検討の必要性については、何らかの検討が必要との意見をお持ちの方が、全体で77.7%となっています。

合併に関する考え方については、現時点では合併の是非はわからない、現時点ではわからないという意見が44.0%と最も多く、続いて「合併すべき」、「どちらかという合併すべき」という合併に肯定的な意見が36.3%で、「どちらかという合併しないほうがよい」、「合併する必要がない」という合併に否定的な意見が18.5%となっています。

合併について期待する項目で最も多かったのが「市長、議員、職員などの数が減り、経費が節減できること」で23.9%となっています。以下、広域的な視点から道路や公共施設などの整備を一体的に進められることが15.9%、

9%、合併による有利な財政措置の活用により、地域の発展や行政サービスの向上に資する事業の展開が可能になること、「利用できる窓口や公共施設が増え、利便性が向上すること」が13%台となっています。

合併への期待



期待する項目は市長、議員、職員の削減による経費の節減

設問 あなたは、市町村合併についてどのようなことを期待しますか。(3項目を選択)